

# 2023 年度 日本ポーラログラフ学会 「志方国際メダル」および「志方メダル」選考結果報告

選考委員会委員長 富永昌人

志方メダルは、2つのカテゴリーに分類され、本会規程によって、

1. 電気化学測定法、電気化学反応、電気化学分析法、その他の電気化学関連領域において顕著な業績を上げ、世界的に高く評価されている国内外の研究者に「志方国際メダル」を、
2. 若手会員(受賞年の4月1日の年齢が45歳まで)で、女性会員については、受賞の年の4月1日現在で48歳以下)で、将来の発展が期待でき将来の発展が期待できる顕著な研究業績を収めた者に、研究奨励賞として「志方メダル」を、

授与することと定められている。

本規程に基づき、本年度推薦・申請のあった者に対して、5名の選考委員からなる選考委員会は慎重に審議した結果以下のように決定した。なお、5名の選考委員の中に利害関係者がいなかったため、全員で審査を実施した。

## 1. 志方国際メダル

以下の1名を受賞者とする。

受賞者氏名(所属)：

相樂 隆正 氏(長崎大学大学院工学研究科)

受賞業績：

電極/溶液界面における動的過程の解析的電気化学研究

受賞理由：

相樂隆正氏は、紫外・可視域の電位変調反射および吸収分光法による電極表面過程解析におけるパイオニアの一人として、生物電気化学、分光電気化学、単分子膜等の組織体の動的挙動解析に関わる数多くの業績を挙げた。特に、極めて高感度な電極界面の電子移動反応速度の解析を可能とする、電位変調紫外・可視反射分光法(Electroreflectance法)を確立し、分光電気化学分野において世界をリードしている。原著論文や総説、著書も多数あり、電気分析化学への学術的貢献は極めて大きい。出版物の大半は国際誌、海外著作物であり、国際学会・シンポジウムへの発表も多く、さらに国際共同研究も活発に行っており、国際メダルを受けるのに相応しい。また、本学会の討論会には毎回積極的に発表し、討論会理事・編集理事・会長を歴任しており、学会への貢献度も著しく高い。

## 2. 志方メダル

受賞者なし

以 上